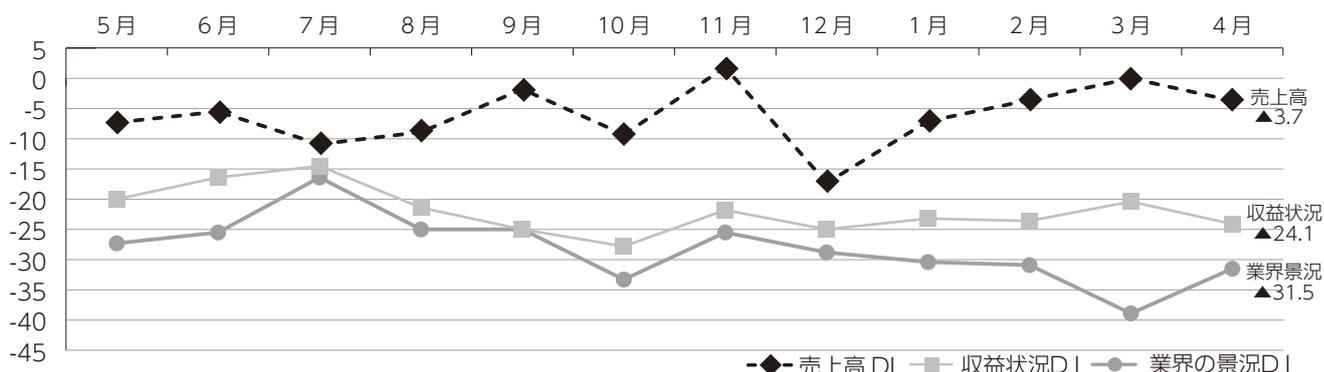


人手不足、物価高騰、トランプ関税等 先行き不透明感が漂う

概況

賃金差から大企業や都市部へ若手の流出が起きているという報告があるように、人手不足の加速が深刻。賃上げしたくとも物価高騰の影響から経営が厳しく、実施困難なケースもみられる。また、トランプ関税の影響について、多くの業種からその影響を危惧する声が聞こえており、今後の動向を不安視している。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁☔	☁☔	☁☔	☁	☁☔☔
製造業	食料品	☁☔☔	☀	☁☔	☁☔☔	☁☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔
	繊維製品	☁☔☔	☁	☁☔☔	☁☔☔	☁☔	☁☔☔	☁☔	☁☔☔
	窯業・土石	☁☔☔	☁	☀	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔
	機械・金属	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔
	その他	☀	☁☔☔	☀	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔
非製造業	卸売業	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	—	☀	☁☔☔
	小売業	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	—	☁☔☔	☁☔☔
	商店街	☁☔☔	☁☔☔	☀	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	—	☁☔☔
	サービス業	☀	—	☀	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	—	☁☔☔
	建設業	☁☔☔	—	☀	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	—	☁☔☔
	運輸業	☁☔☔	—	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	—	☁☔☔



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 長期化する円安のため、海外乳製品等が高値で推移し、原材料コストが毎月上昇している。燃料・人件費上昇に伴う物流コストも上昇。価格転嫁もいつまで消費者に容認してもらえるかわからず、不安の種は尽きない。トランプ関税の影響を注視。</p> <p>[酒造] 一般的に売上数量は減少しているが、純米酒・吟醸酒は好調。</p>
織 維 製 品	<p>[織物（桐生）] 合成繊維のゆかた関連商品は今夏の生産に入る時期だが、思うような受注がなく厳しい状況。七五三のレンタル用製品も商品の入れ替えがなく、受注が少ない。</p> <p>[インテリア] 都市部のマンション等で使われる窓辺商材は好調だが、都市部以外の郊外住宅向けは軒並み不調。</p>
窯業・土石	<p>[コンクリートブロック] 今月からほとんどの組合員が価格改定を実施。しかし、市況の低迷による出荷減からか、出荷本数は減少し収益はほぼ横ばいの状況。</p> <p>[生コンクリート] 東毛地区はじめ渋川地区、吾妻地区等で出荷量が増加したが、出荷量の多くを占める中央地区が大幅に減少したため、全体で減少となった。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[めっき] 半導体装置関連、機械関連はトランプ関税の動向が決まるまで様子見の姿勢に転じた。価格転嫁では耳を貸す企業がいる一方で、未だに値下げ依頼をしてくる企業もいる。</p> <p>[自動車関連（トラック）] トランプ関税の影響はまだ出ていないが、客先からの発注が低下しつつあり、将来の売上高が不安な状況。</p> <p>[機械金属（高崎市）] トランプ関税について、今後間接的に影響が出ることを懸念。人材不足から残業が増加しており、外国人材の活用も視野に入れている。</p> <p>[機械金属（富岡市）] 中小企業・小規模事業者は、物価高における従業員の現状を理解し賃上げの必要性を感じているものの、経営が厳しく実施出来ずにいる事業者も少なくない。</p> <p>[半導体関連] トランプ関税により、半導体業界は一気に冷え込んだものの、AIやクラウドといったデータセンター向けの需要は堅調に推移している。</p>
そ の 他	<p>[家具] インバウンド対応やオフィス環境の改善に対する需要は堅調な一方で、一般消費者向けの市場環境は厳しい。物価高等によりしばらくこの傾向は続くともみている。</p> <p>[紙製品] 食料品等の物価上昇に伴い消費の動きが良くなく、化粧箱や段ボールケースの消費量に影響が出ている。春の賃上げも厳しい状況。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[紙卸売] 年度末から新年度にかけての需要で売上が増加。</p> <p>[自動車タイヤ関連] タイヤは、6月からの値上げによる仮需要が発生し、好調に推移。関連部品については20～30代の車離れが進むことから、購入需要と販売単価の低迷が続いている。雇用においても、人手不足が加速している状況。</p> <p>[再生資源] 現状は相場に大きな変動はないものの、今後、米国の関税問題・為替問題により一変する可能性を懸念。非鉄関係では既に影響が出始めている。</p>
小 売 業	<p>[家電] 防犯関連商品やリフォーム関連の需要はあるが、メインの家電の動きは鈍く、エアコンの動きが出てきているのみ。</p> <p>[生花] 年度末の需要が落ち着いたこともあり、今月は比較的需要が少なかった。また、物価高騰の影響もあってか、来客数・購入単価が前年比で微減の結果となった。</p>
商 店 街	<p>[前橋市] 食料品の値上がり、特に米の価格の高止まりの影響が大きい。トランプ関税による経済の不確実さ、不安定さが消費マインドに悪影響を与えている。</p> <p>[藤岡市] 観光地は多くの人出があったが、商店街への人の流れは変わらぬ状況。</p> <p>[富岡市] 桜の花見時期とゴールデンウィーク期間は富岡製糸場への観光客で賑わった。</p>
サービスマ	<p>[建築設計] 改正建築基準法・省エネ法適用後1ヵ月が経ち、住宅確認申請で申請者・審査側双方に戸惑いの声。書類作成・審査に時間を要する場合、建築業界全体への影響も懸念。</p> <p>[温泉旅館] 4月上旬は春休み客で賑わったが、ゴールデンウィーク前半は日並びが悪く通常週末並みの入り込み。固定費・物価高で宿泊料金は緩やかな上昇傾向。</p>
建 設 業	<p>[建設] 地方の中小企業では、都心部の初任給に勝つことが出来ず、若手が流出。後継者不足や災害対応・除雪体制の維持が困難となる問題が続いている。</p> <p>[電気工事] 受注状況は少しずつ好転。トランプ関税の影響を注視している状況。</p> <p>[塗装工事] 前年同月比で業務量は減少。仕事も少なく利益も減少傾向にある中、低価格で業務確保に動く企業が増加したと感じている。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 4月は全体的に荷動き低調。長距離輸送は残業時間制限内で対応できるようであれば運行している。帰荷がない時は庸車に対応しているが、庸車運賃も上昇傾向。また、小規模事業者が2024年問題や運転手不足に対応できず、廃業事例も聞こえている。</p> <p>[貨物軽自動車運送] スポット配送が減少。増加の兆しも見えず厳しい状況。</p>

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。